

令和元年度 市民の声一覧(令和元年10月1日～令和2年3月31日)

受付月	分類	件名	市民の声の内容の概要	回答(対応)内容の概要	担当課
11月	その他	不要品の即売会	以前は不要品の即売会を催していただき大変助かっておりました。古きよき物が沢山あっても、なかなか買ってもらうのは無いに等しい状態です。そんな店があててもらいたいです。そこで私達もお手伝いできることはさせていただきますので、是非ご検討をよろしくお願い致します。	これに代わるものとして、現在ではフリーマーケットやインターネットでの取引が行われています。高知市では金銭の授受等もあり復活させることは考えておりません。インターネット等の普及もあり、そちらを利用する等、町内会や諸施設等への働きかけをしてみることをお話しました。	広聴広報課
3月	その他	とさでん交通の車庫について	とさでん交通の棧橋車庫は、海の近くにあり、津波や洪水の際に水没してしまう恐れがあるのではないのでしょうか。災害時は、人命を守るのが最優先ですが、車庫の水没により、多数の路面電車・バスの車両が使用不能になれば、その後の住民の生活などに大きな影響が出てしまいます。車庫の移転、もしくは車両の避難計画の策定を、とさでん交通と検討してはいかがでしょうか。必要ならば、県や周辺自治体とも検討しても良いと思います。	平成29年7月の西日本を中心とした豪雨、平成30年7月豪雨など、近年激甚化する豪雨災害などにおいて、交通事業者は、被災地域の住民の移動手段確保に大きな役割を果たしましたが、高知県内においても、交通事業者及び行政間で、災害時におけるバスによる緊急輸送等に関する広域的な協定を締結しており、有事の際にはその役割が期待されているところです。一方、交通事業者の防災計画等についてですが、今回ご意見をいただきました、とさでん交通株式会社では、車両の避難計画を含めた今後の災害対応への備えとしての事業継続計画(BCP)を策定済みと聞き及んでおりますが、ご指摘にありますように、今後高い確率で予測される南海トラフ地震等、大規模災害の発生を見据えた、より万全な対策が求められているところであり、本市としても重要課題であると認識しております。このため、車庫移転等は有効な方法ではありますが、実現には莫大な経費支出が伴いますし、公共交通の公益性といった観点から、事業者単独ではなく、行政や関係機関等も参画した議論が必要となってまいりますので、本市としても、今後、国、高知県、関係自治体とも連携しながら対応を検討してまいりたいと考えております。このたびは、防災の視点から本市の交通行政に関して貴重なご意見を賜り、ありがとうございます。	くらし・交通安全課